

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年1月12日(2012.1.12)

【公表番号】特表2011-506715(P2011-506715A)

【公表日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2011-009

【出願番号】特願2010-538529(P2010-538529)

【国際特許分類】

C 08 F 210/14 (2006.01)

B 29 C 55/28 (2006.01)

C 08 J 5/18 (2006.01)

B 29 K 23/00 (2006.01)

B 29 L 7/00 (2006.01)

【F I】

C 08 F 210/14

B 29 C 55/28

C 08 J 5/18 C E S

B 29 K 23:00

B 29 L 7:00

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月18日(2011.11.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

5～9重量%のヘキセン-1から誘導される繰り返し単位を含み、125～140の融点、及び0.1～3g/10分のメルトフローレート(ASTM-D1238、230/2.16kg)を有する、プロピレンとヘキセン-1とのコポリマー。

【請求項2】

25重量%以下の室温におけるキシレン中の溶解度を有する、請求項1に記載のコポリマー。

【請求項3】

透明化剤を含む、請求項1又は2に記載のコポリマー。

【請求項4】

塩化マグネシウム上に担持されているチタン化合物及び電子ドナー化合物を含む固体成分、アルミニウムアルキル化合物、及び外部電子ドナー化合物を含む立体特異性チーグラー・ナッタ触媒の存在下で行う、請求項1～3のいずれか1項に記載のポリマーを製造するための重合方法。

【請求項5】

外部電子ドナー化合物が、少なくとも1つのSi-O-R結合(ここでRは炭化水素基である)を含むケイ素化合物から選択される、請求項4に記載の重合方法。

【請求項6】

外部電子ドナー化合物がテキシリトリメトキシシランである、請求項4又は5に記載の重合方法。

【請求項7】

請求項 1 に記載のプロピレンとヘキセン - 1 とのコポリマーを含むプローンフィルム。

【請求項 8】

250 μ mより小さい厚さを有する、請求項 7 に記載のプローンフィルム。

【請求項 9】

請求項 7 又は 8 に記載のプローンフィルムを含む商品及び食品の包装材。

【請求項 10】

請求項 1 に記載のプロピレンとヘキセン - 1 とのコポリマーを用いて少なくとも 1 つのフィルム層を形成する、プローンフィルムの製造方法。

【請求項 11】

- ・スクリュー直径の 20 ~ 40 倍のスクリュー長さ；
- ・160 ~ 270 のバレル及びダイ温度；
- ・3 mm 以下の環状ダイギャップ；
- ・2.2 ~ 4 のプローアップ比；
- ・5 ~ 20 の冷却媒体温度；

の条件下で行う、請求項 10 に記載の方法。